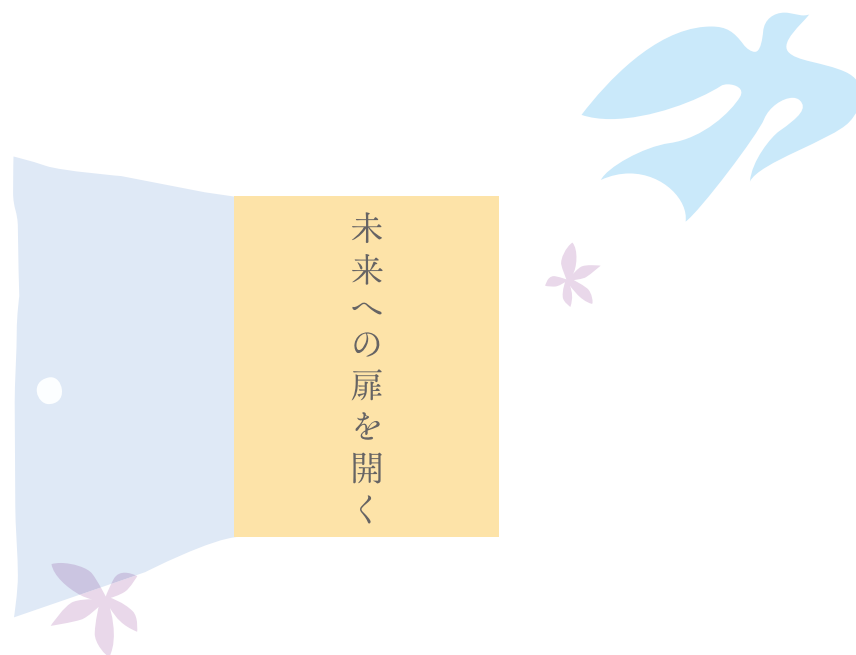


Ryukoku Vision 2020

第5次長期計画 [2010年度 - 2019年度]

Concept of Ryukoku2020



5th Master Plan : A Summary

厳しい時代の中で持続可能な発展を図り、 世界に躍動する大学になるための総合計画。 それが第5次長期計画です。

時代の流れとともにやってくる、社会の多様化・複雑化、競争の激化…

龍谷大学をとりまく環境は今後10年間で大きく変化することが予測されます。

第5次長期計画は、本学がその変化に対応し自律的に発展していくための全学的な行動計画です。

キーワードは、「全学一丸」

大学経営にとって厳しい状況が続く時代。

だからこそ、龍谷大学は第5次長期計画を策定し、様々な改革を推進します。

そして「全学一丸」をキーワードに、龍谷大学総体としての改革成果を創出し、

世界に躍動する大学をめざします。



第5次長期計画スローガン

進取と^{ともいき}共生、世界に響きあう龍谷大学

私たちが未来への扉を開く

龍谷大学は、浄土真宗の精神(親鸞精神)という不易の建学の精神を基盤とし、「進取」の精神によって時代の要請に応え、新しい知の創造と人間の育成に取り組み、その社会的使命をはたしてきた長い歴史と伝統を有しています。ここに本学の独自性があり、その上に縁起思想に基づく仏教的な「共生」を理念として、新しい龍谷大学像を築き上げることをめざしています。

私は、学生一人ひとりが自らの人間形成と自己実現の要求に基づいて成長していくこと、同時に今日の世界が直面している諸問題の解決

に能動的にかかわり真に持続可能な世界(共生世界)の実現に参画しうる主体として成長し自立していくことを援助することが大学の使命として重要であると考えています。

本学を構成しているすべての人々が、互いに心を通わせ、学びあい育ちあいながら、現代世界に呼応し響きあう教学を展開し、すべてのいのちが輝く世界の実現に寄与する大学づくりを共に推進していくことを希求して、「進取と共生、世界に響きあう龍谷大学」を第5次長期計画のスローガンとして決めました。

学長 若原 道昭
2009(平成21)年7月2日